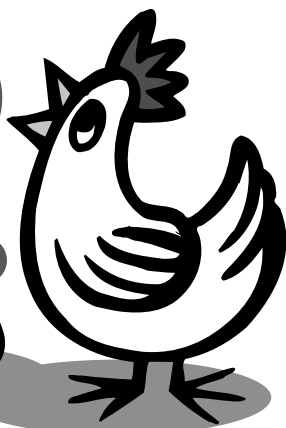


サンプルで学ぶ
VB.NET



瀬戸 遥 SETO, Haruka
<http://www.big.or.jp/~seto/>
<http://hp.vector.co.jp/authors/VA006682/>

Visual Basic .NET コッコ 倶楽部

第15回

ファイル結合プログラムを作る



2つのファイルを結合しちゃおう

2つのファイルを結合させてひとつのファイルにしたいときってありますよね。その場合、エディタやワープロソフトなどでファイルを開いて、「すべて選択」→「コピー」→「貼り付け」なんていう面倒くさい操作が必要になります。

ところが、.NET FrameworkのFileクラスを使うと、メソッドの操作で簡単にファイルを開き中身を他のファイルに追加することができます（ただし、Fileクラスで操作できるのはテキスト形式のファイルのみ）。

今回は、このメソッドの機能とドラッグ&ドロップ機能を利用して、2つのテキストファイルを結合するプログラムを作成してみます（図1）。

このプログラムには、次の処理を実装します。

図1：2つのテキストファイルをラベルにドラッグ&ドロップすることで結合し、新たにファイルを作成する

レベル >>> Level

1 2 3 4 5

言語 >>> Language

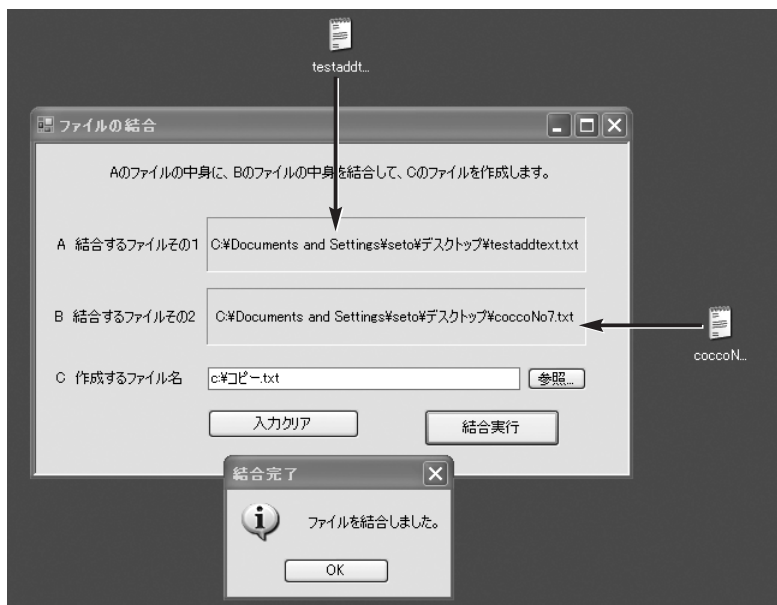
- Visual Basic

ツール >>> Tool

- Visual Basic 2005 Express

サンプル >>> Sample

この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、<http://www.shoelisha.com/mag/windev/>からダウンロード可能です。



- 処理1** プログラムに2つのテキストファイルをドラッグ&ドロップすると、それぞれのファイル名をフルパスで取得する
- 処理2** System.IO.FileクラスのCopyメソッドで最初のファイルをコピー。コピー先のファイル名は、TextBoxに入力されたファイル名となる

- 処理3** 同じくFileクラスのReadAllTextメソッドで、もうひとつのファイルの中身を取り出す
- 処理4** AppendAllTextメソッドで、取り出した中身をコピーしたファイルに結合する
- 処理5** 不測の事態に備えてエラー処理を組み込む
- 処理6** SaveFileDialogコントロールのShowDialogメソッドで結合したファイル名を取得する
- 処理7** 次の操作に備えてドラッグ&ドロップした2つのファイル名をクリアする



GUIの作成

今回は、図2のようなGUIを作成します。使用するコントロールは、Label、Button、TextBox、SaveFileDialogの4つです。各コントロールのプロパティ設定は、表1のようになります。ポイントは、ドラッグ&ドロップ機能を使えるようにするために、Label2とLabel4のAllowDropプロパティをTrueに設定する点です。

図2：今回作成するGUI



表1：各コントロールのプロパティ設定

コントロール	プロパティ	設定値
Label1	Text	A 結合するファイルその1
	Text	ファイルをここにドロップ
Label2	TextAlign	MiddleCenter
	BorderStyle	Fixed3D
	AllowDrop	True
	Text	B 結合するファイルその2
Label4	TextAlign	MiddleCenter
	BorderStyle	Fixed3D
	AllowDrop	True
	Text	C 作成するファイル名
Label5	Text	Aのファイルの中身に、Bのファイルの中身を結合して、Cのファイルを作成します。
Button1	Text	入力クリア
Button2	Text	結合実行
Button3	Text	参照...
SaveFileDialog1	DefaultExt	txt
	Filter	テキストファイル *.txt
	InitialDirectory	c:\
TextBox1	Text	c:\コピー.txt



ドラッグ&ドロップ機能の予備知識

このプログラムでは、2つのLabelコントロールにドラッグ&ドロップ機能を組み込みます。ここでは、コントロールのドラッグ&ドロップの動作について説明します。

DragEnterイベントとDragDropイベント

マウスを使ってドラッグ&ドロップを実行すると、コントロールには2つのイベントが発生します。

まず、コントロール上にマウスポインタを置いてド